学校番号	２１２

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	(学)芸術表現・美術	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・芸術表現美術では、日常生活の中にある様々な美に目を向け生活を豊かにするデザインやアートについて学びます。
・自分の思考・感情や内面の世界、美意識を感じ取ったことから考える「絵画・彫刻」、伝えたいテーマを美しく効果的に伝わるように色・素材・材料を工夫する「デザイン」、ファインアート及びデザイン分野にまたがり複合的に捉え表現する「映像メディア表現」、様々な素材を扱い、用途や目的のある形やデザインについて考える「工芸」、「鑑賞」の分野について学習します。
・様々な素材や道具を扱います。表現形式の特性や形体・色彩などについて着目して、自分なりの感じ方や見方、表現を深めていきましょう。
・ルールや条件を守り、意欲的な態度で授業に臨んで下さい。得意・不得意に関係なく、積極的に諸活動に取り組むことで、表現力が培われていきます。

2　学習の到達目標

美術の幅広い創造活動を通して美的体験を重ね、造形的な見方・考え方を養うとともに、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を育成することを目指す。

（１）　対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。

（２）　造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。

（３）　主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ・意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表している。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	導入「美術入門」	【総合】 1年間の学習内容の説明 【絵画・映像メディア表現・鑑賞】 視点を変えたり、見方を変えたりするだけで様々な発見をすることができる。造形感覚を養うストレッチの表現に取り組む。 ■制作 写真や雑誌のコラージュ、自己表現課題のワークを行う。	a: 課題を理解して見方を工夫し、発見をもとに新たな切り口で構成・構想を練っている。 b:視覚的な効果を考え、図柄や構図、配色を工夫して表現できている。 c:主体的に対象を観察し、様々な角度から美しさや面白さを感じ取ろうとしている。新たな視点を持って主体的に制作している。	制作の様子 作品	制作の様子 作品	学習活動の様子 制作の様子
	ドローイング	【絵画・彫刻】 身近な存在でありながらも、今まで理解するに至らなかった難解で様々な表情を持つ人物をイメージしながら紙と鉛筆を用いてドローイングに取り組み、理解を試みる。 ■基礎制作 ・様々な感情について簡単なドローイングを行う。 ・紙の凹凸を生かした紙加工について学習する。 ■本制作 ・人物をイメージしながら紙・鉛筆を用いてドローイングする。 ・作品をもとに人物について文章で表現し、その人物を分析し理解を試みる。 【鑑賞】	a: 表情や動きなどから他者の内面に目を向け想像し、考え、感じ取ったことから主題を生成し、構想を練っている。 b: 素材固有の表現や素材を生かし、線のリズムや明暗、紙の凹凸を工夫し表現できている。 c: 感情を表すイメージに関心を持ち、テーマをもとに他者の内面に目を向け主体的に表現しようとしている。また、表現技法に関心を持ち主体的に学習・制作することができている。	制作の様子 基礎制作作品 本制作作品 ワークシート	制作の様子 基礎制作作品 本制作作品 ワークシート	学習活動の様子 制作の様子 基礎制作作品 本制作作品 ワークシート 鑑賞活動の様子
	切り絵　「植物と生きもの」	【デザイン】【工芸】 切り絵作品「モチモチの木」などの絵本やポストカード、しおりなどで切り絵の作品を鑑賞し、切り絵の世界に挑戦する。 ■制作 ・『植物といきもの』をテーマに自由にデザインし、切り絵の表現を学習する。 【鑑賞】 ・相互鑑賞	a: 切り絵の技法を理解し、形や色などの働きを考えて植物といきもののテーマの表現の構想を練っている。 b: 切り絵の技法を理解し、工夫して表現している。 c:切り絵という表現技法に関心を持ち、主体的に制作することができている。	制作の様子 作品	制作の様子 作品 エスキース	学習活動の様子 制作の様子 ワークシート

2学期	**陶芸　陶芸の器**	**【工芸】** 使う用途と目的のあるカタチについて着目し、器を制作する。 ■鑑賞 「陶芸」の制作過程を鑑賞する。 ■制作 ・アイディアスケッチ 陶土を使って、器のデザインをする。器は文様の反復表現を生かしたデザインにする。 ・制作 陶土を道具で細工して作る。さまざまな器を紐づくり・板づくりを中心に陶芸の形成の技法を用いて制作を行う。自分でデザインし、器を装飾して表現する。 **【鑑賞】** ・作品を鑑賞しあい、制作を通じて身近にある食器などのカタチの意味についても学習する。	a: 陶芸の世界を見本やビデオ鑑賞より技法を理解し、目的、機能、美しさなどから主題を生成し、形や色などの働きを考えて表現の構想を練っている。 b: さまざまな器を機能性を考え、目的や計画を基に工夫して表現している。 c: 生活や社会を豊かにする工芸の働きについて理解を深めるとともに、使う目的や条件、機能や用途などを考えて表現することに関心を持ち、表現や鑑賞の活動を主体的に取り組もうとしている。	制作の様子 作品	制作の様子 作品 エスキース	学習活動の様子 制作の様子 エスキース ワークシート
	染織「羊毛オーナメントとフェルト石鹸	**【工芸】** ■鑑賞 羊毛をニードルという針で羊毛繊維をからめて形を形成する技術について鑑賞する。 ■制作 ・アイディアスケッチ オリジナルのオーナメントデザインを形に表現する。フェルト石鹸のデザインを考える。 ・制作 羊毛を専用の道具を使うことで羊毛繊維が絡まり、形を成形する技法をもちいてオーナメントと、石鹸をくるむことで羊毛の殺菌作用効果を生かして石鹸を最後まで無駄なく使いきれるフェルト石鹸の制作を行う。 **【鑑賞】**	a:羊毛フェルト技法を理解し、目的、機能、美しさなどから主題を形成し、形や色などを考えて表現の構想を練っている。 b: 目的や計画を基に工夫して、イメージ通りに表現している。 c:生活や社会を豊かにする工芸の働きについて理解を深めるとともに、使う目的や条件、機能や用途などを考えて表現することに関心を持ち、表現や鑑賞の活動を主体的に取り組もうとしている。	制作の様子 作品	制作の様子 作品	学習活動の様子 制作の様子 ワークシート

３学期	**消しゴムハンコでタンブラー**	**【デザイン】** 消しゴムハンコを使ってタンブラーをデザインする。 ■制作 ・アイディアスケッチ ・反復表現やハンコを生かしたデザインを考える。 ・消しゴムハンコ制作 ・押印・加飾し、デザイナーになったつもりで暮らしの中で使うデザインについて学習する。 ・企画プレゼンプリントを作成し、発表する経験を体験する。 **【鑑賞】** ・鑑賞 **【発表】** ・プレゼン発表	a:ハンコの特性を理解し、目的、機能、美しさなどから主題を生成し、形や色などの働きを考えて表現の構想を練っている。 b: 目的や計画を基に工夫して表現している。 c:デザインの目的や条件、機能や用途などを考えて表現することに関心を持ち、鑑賞や表現したものを自分の言葉で発表することを主体的に取り組んでいる。	制作の様子 作品	制作の様子 制作途中の作品 作品 下書き	学習活動の様子 制作の様子 作品 ワークシート 鑑賞レポート プレゼン発表の様子

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度